

タラス・シェフチェンコ記念キエフ国立大学
第9回全ウクライナ国際学術シンポジウム 2017
「日本語・文学の学習と研究－日本事情の影響と理解」

日時：2017年3月17日(金) — 3月18日(土)

会場：タラス・シェフチェンコ記念キエフ国立大学 言語学院
(Bulvar Tarasa Shevchenka 14, Kyiv Ukraine)

後援：在ウクライナ日本国大使館

助成：国際交流基金（さくらネットワーク助成事業）

協力：ウクライナ日本語教師会、キエフ工科大学 KPI ウクライナ日本センター

プログラム

3月17日(金)

午前の部（会場：言語学院2階講堂）

9:30 受付開始 言語学院2階 講堂前

10:00 開会の挨拶 ベフ・ペトロ教授（タラス・シェフチェンコ記念キエフ国立大学 国際関係担当副学長）

来賓挨拶 角 茂樹（すみ しげき）様（駐ウクライナ日本国特命全権大使）（予定）

主催側挨拶 ボンダレンコ・イワン教授

（タラス・シェフチェンコ記念キエフ国立大学 言語学院 極東・東南アジア言語文学科長）

10:30-12:30 基調講演1 フェドリーシン・ミロン先生（リヴィウ国立工科大学、准教授）

「日本文学と言語地域研究（日本事情）：今までの研究の中で感じたことや気づいたこと」

基調講演2 ピロゴフ・ヴォロディミル先生（キエフ国立言語大学、准教授）

「俳句を対象とした翻訳比較と文化的考察」

※講演はウクライナ語で行われます。

12:30-13:30 **昼食休憩** ※2階食堂または市内の飲食店を各自ご利用下さい。

ゴルベンコ・スヴァトスラフ記念教室に是非お立ち寄りください。（言語学院2階 83番教室）

午後の部（各分科会場）

13:30 分科会「日本語学」「日本語教育」「日本文学」（会場・発表プログラムは別紙をご覧ください）

17:30 司会担当者による各分科会のまとめ。参加者からの意見・要望。

3月18日(土)（分科会場）

10:00-12:30 学生対象分科会

12:30 閉会の辞 ボンダレンコ・イワン教授

【基調講演者紹介】

【招聘講師 1】

フェドリーシン・ミロン・セメーノヴィチ

リヴィウ国立工科大学人文・社会学部外国語学部准教授

夏目漱石、与謝野晶子、川端康成作品のウクライナ語訳をはじめ英語フランス語の翻訳も行ってきた。『みんなの日本語初級翻訳・文法解説ウクライナ語版』の翻訳とその監修を行ったほか、日本語教材を多く発表している。ウクライナの日本語教育に多大な功績がある。

平成 24 年秋、旭日小綬章叙勲者

【招聘講師 2】

ピロゴフ・ヴォロディミル・レオニードヴィチ

キエフ国立言語大学東洋言語学部極東言語文明学科長、准教授

多くの特許技術翻訳行ったのちウクライナ教育界において日本語の普及に尽くしている。言語学博士候補 (Ph. D)。日本語に関する学術業績多数。在日本ウクライナ大使館、元参事官。

平成 26 年春、旭日小綬章叙勲者

【ゴルベンコ・スヴァトスラフ記念教室】 言語学院 2 階 83 番教室

このシンポジウムに参加したくても参加できなかった私たちの仲間が一人います。ゴルベンコ・スヴァトスラフ君です。

彼は 2014 年の「尊厳の革命」に参加した後、キエフ国立大学で日本語と日本文学を学びました。その後、彼は愛国心と救国の使命感から志願し、ウクライナ東部の戦線に参戦しました。

しかし残念ながら 2014 年 10 月 3 日にドネツク空港で英雄として戦死しました。たった 19 歳でした。この教室にはスヴァトスラフ君を記念した展示物があります。是非お立ち寄りください。